

**製品名: FOXA2 (1Z7) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe11073**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン (pH 7.4)、0.15M NaCl、40% グリセロール、0.01% 新タイプ防腐剤 N、および 0.05% 保護タンパク質で供給されます。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:200-1:500,IP 1:20-1:50
分子量	48kDa

**抗原情報**

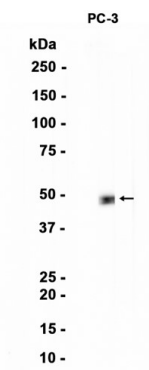
遺伝子名	FOXA2
別名	Forkhead box protein A2; FOX A2; foxa2; Hepatocyte nuclear factor 3 beta; HNF3B; TCF3B; Transcription factor 3B;
遺伝子 ID	3170.0
SwissProt ID	Q9Y261
免疫原	ヒト FOXA2 の組み換えタンパク質

**背景**

グルコース恒常性維持に関与し、膵β細胞におけるグルコース感知およびグルコース恒常性維持に重要な遺伝子の発現を調節する。脂肪代謝の調節に関与する。フィブリノゲンβプロモーターに結合し、IL6誘導性フィブリノゲンβ転写活性化に関与する。胚発生、組織特異的遺伝子発現の確立、分化組織における遺伝子発現の調節に関与する転写因子。ヌクレオソームコアヒストンとの相互作用を介して他のタンパク質のために凝縮したクロマチンを開き、それによって標的エンハンサーおよび/またはプロモーター部位のリンカーヒストンを置換する「パイオニア」因子として機能すると考えられている。コンセンサス配列 5'-[AC]A[AT]T[AG]TT[GT][AG][CT]T[CT]-3' (類似性による) で DNA に結合します。胚発生において脊索形成に必要。肝臓、膵臓、肺など、複数の内胚葉由来臓器系の発達に関与する。FOXA1 と FOXA2 は、少なくとも部分的には重複した役割を担っていると考えられる。元々は、AFP、アルブミン、チロシナーミノトランスフェラーゼ、PEPCK など、多くの肝臓遺伝子の転写活性化因子として記載された。これらの遺伝子のシス作用性調節領域と相互作用する。グルコース恒常性に関与し、膵β細胞におけるグルコース感知とグルコース恒常性維持に重要な遺伝子の発現を制御する。脂肪代謝の調節に関与する。フィブリノゲンβプロモーターに結合し、IL-6 誘導性のフィブリノゲンβ転写活性化に関与する。

## 研究分野

## 画像データ



FOX A2 (1Z7) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した PC-3 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。